

守るべきは「市民の命と健康」

細谷 祥子
(都民ファーストの会)



質問 市の災害対策の強化、備えをさらに着実に進めてほしい。災害直後の情報は大切。大規模災害が発生した場合の代替えの通信手段の準備は。

答弁 震度5強以上の地震が発生した場合、災害対策本部を非常配備体制で対応。本年6月以降、東京都より各市町村へスターリンクが1台配備される。これにより、代替通信手段はさらなる確保ができるものと考えている。

質問 東久留米市スポーツ健康都市宣言にふさわしい事業の展望は。

答弁 市民がスポーツに触れる機会が多くなるよう努めていきたい。

質問 所沢街道の歩道整備等の改善を熱心に積み上げられた住民の思いに誠意を持った取り組みをお願いするが。

答弁 令和6年度および7年度の2力年用地測量を実施し、丁寧な周知・説明を行いながら事業を推進。歩道整備後は横断歩道、信号機が設置される。

あんしんして暮らせるまちづくり！

当麻 一哉
(自民クラブ)



質問 本市の震災における道路・ライフライン等の復旧について伺う。

答弁 発災後は、道路、河川、交通安全施設等の被災状況の調査を行い、市内の主な道路の再開作業により緊急輸送道路等の確保を行う。各事業者とライフラインの復旧目標を調整し、事業者は耐震化等を進めるとともに、被災後の復旧体制を整備し、発災時は復旧目標や被災状況等を踏まえ、早期の機能回復に努めるものとしている。

質問 令和5年第3回定例会で、認定こども園・幼稚園を市の要支援児保育審査会の対象とし、都の補助対象とできないか伺ったが、その後の状況は。

答弁 令和6年度より巡回相談の対象を拡大し、幼稚園も対象とする予定であり、認定こども園・幼稚園が都の補助事業を活用する際、巡回相談を通じて特別な支援が必要な理由を付記した市の認定通知による申請も可能となる。

ゼロカーボンシティへの取り組み

岩崎 さやこ
(国民民主党)



質問 2050年ゼロカーボン社会の実現のためには、中間処理施設においてCO₂排出量を抑えたまま、ごみ発電のための燃焼効率を上げることが重要となる。生ごみの水分量を減らすことで発電効率を上げることができ、市の取り組みは。

答弁 家庭から生ごみを廃棄する際に水分量を減らすことが重要であり、家庭で手軽にできる取り組みを市民の皆様にご協力いただけるよう、広報・ホームページ等を通じ啓発に努めていく。

質問 高齢化が進む中、誰もが認知症について正しく理解し、認知症でも安心して暮らし続けられることが必要になっている。小学校でのサポーター養成講座の実施状況について伺う。

答弁 平成29年度からは、市内小学校で、児童を対象とした認知症サポーター養成講座の開催等を利用し認知症に関する正しい理解の普及に努めている。

都市農業政策について

篠宮 よしのり
(自民クラブ)



質問 今後、市の農業にスマート農業をどのように浸透させていくのか伺う。

答弁 新たな技術の導入費用の一部について、中核的・中心的農業者支援事業の中で補助できる仕組みとしている。東京都などの各種補助事業の周知等により農業経営のサポートに努めていく。

要望 農業関係団体をはじめ、商工会や商店会等の広域的な連携を求める。

質問 都市公園ストックマネジメント検討支援業務委託の成果を伺う。

答弁 令和5年度は、事業者と契約を締結し、ボール遊びのできる公園がない小学校区域の児童や、日常的に公園を活用し活動している自治会など、広く市民の意見を聴取るヒアリングを中心に進めてきた。市民みんなのまつりでは、公園での過ごし方に関する投票を実施し、22名からの回答があった。**要望** 引き続き、市民に喜ばれる公園マネジメントへの検討を求める。



東久留米市議会 会議録検索システム
(<https://www.city.higashikurume.tokyo.dbsr.jp/index.php/>)
第1回定例会における一般質問を含む最新の会議録は5月下旬に掲載予定です。



本会議の進行を務める沢田孝康議長

「変わりつづけるまち東久留米」へ

沢西 卓哉
(自民クラブ)



質問 LINEを活用したオンライン市役所の導入の取り組み状況を伺う。

答弁 小中学校、学童保育所の欠席連絡機能や保護者へのデジタル連絡機能、登録所チェックイン機能を搭載し、令和6年9月頃からの稼働を目指す。また、キャッシュレスでのオンライン申請による住民票等の交付に取り組む。

質問 所沢街道歩道整備事業の経緯と今後のスケジュールについて伺う。

答弁 用地測量等の範囲、施行内容および事務分担、工程、費用負担等について定めた協定書を東京都と締結。令和6年度および7年度の2力年の予定で用地測量を実施後、用地取得の予定。**要望** 早期買収希望者や買収の希望時期などアンケート方式を提案。スクールゾーンにおける区間は強度の高いガードレールやガードパイプでの整備を、所沢街道に接続する市道には隔切りを設けての安全対策を要望する。

災害に強く、魅力あるまちへ！

関根 光浩
(公明党)



質問 市の業務継続計画（BCP）に、特に重要な6要素を定めているか伺う。

答弁 国が示す業務継続計画に特に重要な6要素のうち、5つは現行の業務継続計画に定めているが、代替庁舎に関しては、引き続き検討を行い、令和7年度末までに改定を予定している業務継続計画に反映していく考え。

質問 ウォーキングアプリ等導入と今後3年間の取組の概要について伺う。

答弁 紙面のウォーキングマップをアプリとして開発し、市の魅力を付加した情報発信に向け、デジタル化を図っていく。令和6年度は、自然に健康になれるウォーカブルマップアプリの構築。7年度は、安全、安心にウォーキングできる環境づくりを構築する予定。8年度は、市の情報を本アプリで把握できるようにすることで、市民の利便性を高め、観光マップとして活用できる環境づくりを構築する予定。

価値を見いだす地域産業計画を！

三浦 猛
(公明党)



質問 今後の公共施設の変化や計画道路の新設、公園・緑地の再整備等も、取組方によっては、人や物やお金の動きを変える可能性がある。インバウンドの対策を講じる価値もあると考える。今後は、一つ一つの事業にもあらかじめ地域産業振興の視点を入れておくことも必要ではないか。そのために、農業振興計画があるように、商工も含めた地域産業活性化計画を立案すべきと考えるが、見解を伺う。

答弁 地域産業推進協議会で様々な取組を進めており、金融機関や商店街の方々とも意見交換をしながら今後の地域経済の活性化に引き続き取り組んでいく。計画の策定を前提とした補助事業があることから、まずは、近隣自治体等の取組などを調査・研究していく。**意見** 市としてのビジョンを持って、それぞれの地域活性がばらばらにならないように努めていただきたい。

給食費の無償化を！！

永田 雅子
(日本共産党)



質問 給食費の無償化に取り組む考えはない上で、市長部局と調整・検討するとは一体どういう意味なのか、無償化を求める立場から伺う。

答弁 学校給食法および同法施行令の趣旨や、生活保護・就学支援の制度があることに加え、限られた財源の下、優先順位を付けて取り組まざるを得ない中、無償化についてはなかなか本市ではできないところではあるが、東京都の補助事業についての詳細が分かり次第、以後の対応については検証していきたい。

質問 高齢者の見守りに関する事業の救急通報システム事業について、他市の同事業と比較して対象者の枠が狭いため、拡充を検討できないか伺う。

答弁 救急通報システム事業は東京都福祉局、東京都消防庁、市の3者で実施しているため、要件の見直しについては現時点で考えていない。

ちゅうおう保育園民営化は撤回を！

村山 順次郎
(日本共産党)



質問 ちゅうおう保育園の公私連携型保育所への移行の3年延期。昨年8月の実施計画改訂がなければ、同保育園を希望できた児童と保護者が受けた損害は取り返せない。改訂、その後の見直しの責任は重大だと考えるが。

答弁 1月の実施計画改訂後、入所申請された方にスケジュール変更など概要のお知らせを送付した。引き続き、広く市民の方への周知に努めていく。

質問 子育てモデル世帯の国保税がどのように変化したか伺う。

答弁 令和6年度国保税・税率等改定案の水準で、夫婦と小学生以上の子ども2人の場合、40万4千円と試算。平成29年度と比べ5万7300円増。**意見** 5年度の子育てモデル世帯の国保税は多摩26市で7番目に高い。今回の改定ではその他繰入金が増額されたが、国・都が手だてて取るまでさらに増額し、国保税引き上げをやめるべき。

富田市政任期後半2年がスタート！

宮川 豊史
(久留米ハートネット)



質問 前半2年は「やればできる！やれる・できる市役所へ」を掲げ、前向きで積極的に課題解決に取り組む、新人市長とは思えないほど多くの実績を残した。後半2年も同様に結果を出すためにはこれまで以上の努力が必要だが、富田市長の覚悟と決意は。

市長 上下関係なく、様々な部署の職員との建設的な議論を通じて、市民の皆さまに最善策を提示していきたい。

質問 「人にやさしいデジタル化」のために、暗証番号の入力はタッチパネルではなく、目が見えない人でも分かりやすいキーボードをこれからも使うべきでは。

答弁 障害のある方々に利便性を実感してもらえよう推進。

質問 こどもたちがボール遊びのできる公園を整備するための取り組みは。

答弁 都営幸町一丁目アパート内の公園に防球ネットの設置予算を計上。

課題を解決し、実現に向け前進せよ

引間 太一
(ニューウェーブ)



質問 道の駅の実現に向けた現在の進捗状況について伺う。

答弁 地域経済の好循環とにぎわいの創出の拠点となる道の駅とするためには、行政課題や地域課題との関係性や影響等も併せて検討する必要があると考えており、令和6年度は庁内で諸課題の整理等に取り組む。

質問 学校給食の乳糖不耐症対応について、他自治体では一定の対応をしているところもあり、本市でも検討を求めるが見解は。

答弁 他自治体でどのような取組がされているか、申請の際に医師の診断書を求めているかや、乳アレルギーと乳糖不耐症の対応が混在した際に取り違えを防ぐ仕組みづくり、また、飲用牛乳でない、例えば乳酸菌飲料提供日の対応など、情報収集をしていきたい。**要望** 他自治体での状況を確認し、当市もしっかりと対応していただきたい。